



学校便り 「志々伎の風」

No. 4

目指す児童像

「自然に親しむ優しい子ども」 「自分で学び考える子ども」
 「気力・体力を高める子ども」 「将来の夢をめざす子ども」

平成30年5月18日
 文責
 平戸市立志々伎小学校
 校長 村田 俊郎

【読書】

「はじまるよ！本のカーニバル」2018年読書週間（4月23日～5月12日）に合わせて、4月25日に永田記念図書館の方が読み聞かせをされました。今年度も、月に一回様々な本の読み聞かせをしていただきます。

昨年度、志々伎小学校の子どもたちは、一人あたり250冊以上の貸し出しがありました。驚くべき冊数です。今年度も貸し出し冊数の多い子は、すでに74冊借りています。（5月15日現在）

読書の効果は様々あります。①今まで知らなかったことに触れ世界が広がり、より多くの人とコミュニケーションをとることができます。②偉人の考え方に触れ、生きていくための大きなヒントを得ることができます。③登場人物の心情を考えることで、想像力が高まります。

今年も数多くの本に触れいろいろな世界を旅行してほしいと思います。



【親子で読書・みんなで読書】



テイラーは、つみきのお城を壊され落ち込みます。いろいろな動物たちがなぐさめようとしますが、どれも的外れな対応ばかりです。最後にウサギがやって

きます。ウサギは、だまってテイラーの話に耳を傾けます。子どもの心にやさしく寄りそう一冊です。

【法被】

SHIJKI と文字をいれたもの、桜吹雪を斜めに流しているもの、格子模様を入れたものなど、個性あふれる法被ができています。運動会当日は、子どもたちの踊りだけでなく、整列しているときの法被の絵柄にも注目してください。



【仕切り直し。運動会】

13日は、運動会の予定時間帯だけが雨という最悪の天気でした。しかし、20日は「晴」で「降水確率10%」です。子どもたちを含めたみなさんの想いが通じたようです。



木曜日、体育館で最後の練習を行いました。久しぶりの練習でしたが、雨雲を吹き飛ばすような大きな声で校歌や応援歌を歌い、力の限り応援をしていました。1年生も歌詞や振り付けをしっかりと覚えていました。日曜日、体調を万全にし、持てる力をすべて発揮してほしいと思っています。

